

# 令和2年度事業成績書

## 第1 会議関係

### 1 常務理事会

第1回  
令和2年 5月12日  
アルカディア市ヶ谷

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

第2回  
令和3年 3月 4日  
アルカディア市ヶ谷

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

### 2 理事会

第1回（書面議決）  
令和2年 5月12日  
理事総数 19人  
回答人員 19人

「議案」  
第1号議案 令和元年度事業成績書（案） . . . . . 原案どおり承認  
第2号議案 令和元年度一般会計収支決算（案）  
及び傷害共済特別会計収支決算（案） . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

第2回（書面議決）  
令和2年 6月30日  
理事総数 18人  
回答人員 18人

「議案」  
第1号議案 評議員の選任 . . . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

第3回（書面議決）  
令和2年 8月28日  
理事総数 18人  
回答人員 18人

「議案」  
第1号議案 評議員の選任 . . . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

第4回（書面議決）  
令和2年 9月30日  
理事総数 18人  
回答人員 18人

「議案」  
第1号議案 評議員の選任 . . . . . 原案どおり承認  
第2号議案 副理事長の選任 . . . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

第5回（書面議決）  
令和3年 3月18日  
理事総数 19人  
回答人員 19人

「議案」  
第1号議案 令和3年度事業計画（案） . . . . . 原案どおり承認  
第2号議案 令和3年度一般会計収支予算（案）  
及び傷害共済特別会計収支予算（案） . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

### 3 評議員会

第1回（書面議決）  
令和2年 5月12日  
評議員総数 39人  
回答人員 39人

「議案」  
第1号議案 令和元年度事業成績書（案） . . . . . 原案どおり承認  
第2号議案 令和元年度一般会計収支決算（案）  
及び傷害共済特別会計収支決算（案） . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

第2回（書面議決）  
令和2年 9月15日  
評議員総数 36人  
回答人員 36人

「議案」  
第1号議案 理事の選任 . . . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

第3回（書面議決）  
令和3年 3月18日  
評議員総数 38人  
回答人員 38人

「議案」  
第1号議案 令和3年度事業計画（案） . . . . . 原案どおり承認  
第2号議案 令和3年度一般会計収支予算（案）  
及び傷害共済特別会計収支予算（案） . . . 原案どおり承認  
その他 議事録署名人の選任 . . . . . 原案どおり承認

#### 4 傷害共済審査委員会

第1回（書面議決）  
令和2年 6月22日  
構成員 8人  
出席委員 8人

①「ウイズ広島：調理員」  
令和2年5月11日16時20分頃施設内2階厨房において、冷蔵庫に食材を運搬中足が滑りガラスの引戸に前傾転倒し、両手、両肘強打、裂傷左親指・左肘に計10針縫合となったもの。  
17日の通院加療。（給付決定）

第2回（書面議決）  
令和2年10月23日  
構成員 8人  
回答委員 8人

①「岡崎自啓会：補導員」  
令和2年8月4日施設内209号室において、同室の入寮者にPCR検査のため、岡崎市内の愛知病院への同行を求めたところ、同者が「俺は行かん」と怒鳴りながら同室に備え付けの木製の椅子を蹴飛ばし、その椅子が本人の右足にあたり強打したもの。  
1日の通院加療。（給付決定）

②「岡崎自啓会：補導員」  
令和2年8月4日施設内209号室において、同室の入寮者にPCR検査のため、岡崎市内の愛知病院への同行を求めたところ、同者が「俺は行かん」と怒鳴りながら暴れたため、取り押さえようとした本人が顔面に同者の頭突きを受けるなどしたことにより、顔面打撲、鼻骨骨折の傷害を負ったもの。  
5日の通院加療。（給付決定）

第3回（書面議決）  
令和2年12月18日  
構成員 8人  
回答委員 8人

①「清心寮」：補導員  
令和2年9月25日、上尾市大字領家194-1（通称上尾道路下り線）を勤務先から帰宅中、信号が赤になったので減速し、停止しようとしたところへ、自動車が自車後部正面に追突したことにより、頸椎捻挫の傷害を負ったもの。  
17日の通院加療。（給付決定）

第4回（書面議決）  
令和2年12月24日  
構成員 8人  
回答委員 8人

①「呉清明園」補導主任  
令和2年5月21日、宿直勤務中、夜間の見回り点検のため浴室を点検後、脱衣場で足を滑らせて転倒し、左足関節外果骨折の傷害を負ったもの。  
16日の入院加療、5日の通院加療。（給付決定）

第5回（書面議決）  
令和3年3月29日  
構成員 8人  
回答委員 8人

傷害共済規程の改正案を理事会に諮ることについて、全員一致により承認された。

## 第2 事業計画関連事業等

令和2年度における当連盟の事業は、全国的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業の中止又は延期を余儀なくされ、十分な成果を収めることができなかつたが、従来の実施方法を工夫・変更し、又は新たな事業を付加する等して、可能な範囲で事業を行うことに努めた。

第1に、平成30年度から始まった「更生保護事業の在り方」の抜本的な見直しの結果、令和2年度末に開催された全国協議会（テレビ会議システム）において、全国から提出された意見を基に質疑応答が行われ、今後の方向性が確認された。具体的には、第一段階（令和3年度予算要求）としてフォローアップ事業の充実、第二段階（令和4年度予算要求）として更生保護地域連携拠点、第三段階（令和5年度予算要求）として委託費構造の見直しを掲げ、目標が定められた。これら各年度の重要課題と具体的施策の遂行にあたり、今後、中央又は地方ブロック単位で協議会が開催されていく予定であり、当連盟としても法務省保護局との連携を強め検討を深めていきたい。

第2に、当連盟主催の「SST研修」は、研修生同士の対面方式に拠る研修スタイルのため実施困難であったが、保護局との共催による「管理研修」及び「新任補導職員研修」では、講師の講義を録画（DVD化）し、更生保護施設に配布した。各施設からは、「職員の誰もが、空いた時間で、いつでも視聴することができて良かった」との声が多く寄せられ、その意味で効果を上げた模様である。

第3に、令和2年度は、コロナ禍にあつて、新たな事業の必要性を見出すことができた年でもあつた。一つは、就労にも影響する隠れた通信弱者（携帯電話を持ってない“携帯ブラック”）の問題であり、もう一つは、食品ロス削減推進法の成立により一層の協力が見込まれるフードバンクとの連携である。こうした活動の拡がり、被保護者又はフォローアップ対象者等の就労支援あるいは生活支援につながると思えば、今後可能な限り推進していきたい。

最後に、令和3年度予算政府案において、訪問支援スタッフ8名の配置（令和3年10月から）が認められ、今後8更生保護施設においてモデル的に実施され、その効果検証を踏まえてこれからの更生保護事業の在り方が検討されることとなった。当連盟としても、法務大臣はじめ関係当局等に働き掛けを行い、更生保護法人の業務及び職員体制の更なる充実と強化に努めていく。

### 1 更生保護法人の組織運営、事業内容の充実強化

#### (1) 更生保護事業の在り方に関する全国協議会（経営研究会）

主 催：保護局

更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開 催 日：①令和3年2月26日（金）14時00分～16時00分

②令和3年3月 1日（月） 14時00分～16時00分

③令和3年3月 3日（水） 14時00分～16時00分

⇒新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりテレビ会議システムを活用した協議会を3回に分けて開催。

## 2 更生保護施設における処遇機能の充実強化

### (1) 更生保護施設における SST 研修

主 催：更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開 催 日：令和2年9月3日（木）及び4日（金）

開催場所：アルカディア市ヶ谷

⇒新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止

### (3) 更生保護施設管理研修

主 催：法務省保護局

更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開 催 日：令和2年11月28日（木）及び11月29日（金）

開催場所：法務省赤れんが棟

研 修 員：15名

⇒新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により集合研修は実施せず、講師による講義動画を作成配布し、研修員が講義動画を各自視聴する形で実施。

### (4) 少年関係更生保護施設基本問題研究会

主 催：更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開 催 日：令和2年7月6日（月）及び7日（火）

開催場所：更生保護施設「立正園」ほか

⇒新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止

### (5) 新任更生保護施設補導職員研修

主 催：法務省保護局

更生保護法人 全国更生保護法人連盟

開 催 日：令和2年12月19日（木）及び20日（金）

開催場所：法務省赤れんが棟

研 修 員：64名

⇒新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により集合研修は実施せず、講師による講義動画を作成配布し、研修員が講義動画を各自視聴する

形で実施。

### 3 「更生保護施設要覧」の全面改訂版の作成

平成21年に本要覧を作成して以来、10年以上の月日が経過し、この間の我が国の犯罪情勢や更生保護施設を取り巻く実務環境は大きく変わったこと、また、内外からの改訂版作成の要望に応えるため、更生保護施設からの情報提供を受け、保護局の指導の下、全面改訂版3,000部を作成し、更生保護関係機関・団体等へ配布した。

### 4 更生保護施設等支援協議会及び地域のフードバンクとの協力関係を築き、被保護者及びフォローアップ対象者の生活支援を進めた。

### 5 地方更生保護施設連盟等が実施する事業等に対する協力・助成。

- (1) 令和2年度地方別更生保護施設補導職員実務研修会  
今年度の助成実績なし。
- (2) 刑務所出所者等に対する福祉支援に係る事例研究会  
今年度の助成実績なし。

### 6 関係機関・団体との連携

法務省保護局、更生保護法人日本更生保護協会、更生保護法人全国保護司連盟、認定特定非営利活動法人全国就労支援事業者機構等更生保護関係機関・団体との連携を一層強化するとともに、更生保護事業に係る各施策が円滑に推進するように努めた。

### 7 更生保護事業の広報の充実

- (1) 全更連会報を2回（No.149号、No.150号）発行した。
- (2) 全更連ホームページを更新した。

### 8 予算の確保

更生保護法人関係予算について、更生保護委託費、更生保護事業費補助金等の予算増額が図れるよう、関係機関・団体に働き掛けるなど積極的な活動を展開した。

### 9 傷害共済規程に基づき、適正かつ円滑な運用を図った。本年度の傷害共済給付金については5件の申請があり、審査の結果、いずれも公務傷害と認められ、申請どおり給付決定された。

#### 10 表彰及び慶弔・見舞い

令和2年9月9日開催の「令和2年度保護司等中央研修会及び更生保護関係者の顕彰式典」において、顕彰及び慶弔規程に基づき、更生保護法人等の役職員に対する功労表彰を行った。

#### 11 新型コロナウイルス感染症の感染拡大関係

全国の更生保護施設に対して、新型コロナウイルス感染症防止対策等について事務連絡を発出したほか、各種の情報提供を行った。

また、緊急時対応としてマスク及び消毒液を一括購入し、全更生保護施設へ送付するなどの支援を行った。